

個別状況調査票

今回調査	年 月 日
前回調査	年 月 日

対象者氏名		男・女	生年月日	MTS 年 月 日	調査員氏名
介護の必要性	要介護度 (I-1)	1・2	3・4・5	要介護認定期間	年 月 日 ~ 年 月 日
	【特記事項】				
介護の困難性	1 居場所 <input type="checkbox"/> 在宅 (II-1①) <input type="checkbox"/> 入院・入所・入居 (II-1②) <input type="checkbox"/> 早期の退院・退所・退居勧告がなされている <input type="checkbox"/> " " なされていない				
	【特記事項】				
個別に勘案すべき事項	2 家族介護者の状況 ①介護者がいない(単身)または介護者が別居 (II-2①) <input type="checkbox"/> 介護が不可能 <input type="checkbox"/> 介護が不十分 <input type="checkbox"/> 介護がやや不十分 ②介護者はいるが、高齢、病弱、就労、育児等に従事又は、他の要介護者がいる (II-2②) <input type="checkbox"/> 介護が不可能 <input type="checkbox"/> 介護が不十分 <input type="checkbox"/> 介護がやや不十分				
	【特記事項】				
すそべのき他特別に勘案	<input type="checkbox"/> 介護者に係る事由 (III-1) 介護者が介護に対して極めて消極的である場合、被介護者が介護者との関係において特に精神的苦痛を訴えている場合、介護者が長年に渡る介護疲れを訴えている場合、入院中であっても付き添い等による介護疲れが著しい場合など。 <input type="checkbox"/> 経済的事由 (III-2) 指定居宅サービスを利用し在宅生活をしているが、経済的事由により必要なサービスの維持が困難であり、施設入所により経済的負担が軽減される場合など。 <input type="checkbox"/> 住宅事情 (III-3) 立ち退きを求められている、退院・退所後の住居がない、住居環境(廊下、階段、便所、浴室等の住宅改修が困難)が介護に適さない場合など。 <input type="checkbox"/> 認知症による行動障害 (III-4) 徘徊、火の不始末、暴力、不潔行為等が顕著であり在宅生活が困難と認められる場合など。 <input type="checkbox"/> 知的障害・精神障害等による行動障害 (III-4) 異食、興奮、寡動、自傷行為等が顕著であり在宅生活が困難と認められる場合など。 <input type="checkbox"/> 本人の強い入所希望 (III-5) 本人に強い入所の希望がある場合。				
	【特記事項】 (IV)				